



ふたば

令和元年 11 月 11 日
甲府市立千塚小学校
No.19 文責:校長 中國

学校教育目標
心豊かで
たくましい子ども

あいさつのびびく千塚小

毎朝、児童玄関で児童会役員全員によるあいさつ運動が実施されています。児童会では、あいさつ運動の中で元気にあいさつしてくれる人を調べ、お昼の放送でリーダー名を紹介したり、児童会便りでリーダーの数を紹介したりするなどして、あいさつの輪を広げてくれています。そして、過日発表された10月のあいさつリーダーの数は、何と全校で115名もいました。全校の31%の割合になります。中でも1年生から3年生までのあいさつが元気よく、校舎内に響いています。

あいさつは、人と人とのコミュニケーションの第一歩です。私も「おはようございます」の後に、「元気なあいさつでうれしいよ」「続けて頑張ってるね」などと声をかけるようにしています。

11月も気持ちの良いあいさつが児童玄関で響いています。また、あいさつと会釈をしてくれる子ども達もすごく増えています。とてもうれしいです。今後は、地域の方々からも「千塚の子ども達のあいさつは、とても立派ですね」と言われるように、また、あいさつが千塚小の宝となるように全校で意識して頑張ってもらいたいと思います。



4年 福祉講話 声をかけてね！！

11月7日（水）3・4校時福祉講話を実施しました。講師の先生は、千塚地区にお住まいの中村紘一さんです。講話は、目の見えない日常生活の様子や障害者や盲導犬についてお話しいただきました。

盲導犬ニーシャとふれあう場面もつくっていただき、お話や活動を通して、ともに生きていくことの大切さを教えていただきました。中村先生からは、「4年生の適確な質問に驚きました。皆、一生懸命メモをとりながら真剣に聞いてくれうれしかったです」との感想をいただきました。また、講話終了後に千塚小の子ども達へ『障害者の方を見かけたら、まずは「おはようございます、こんにちは」と一声かけてもらいたいこと、そして「お手伝いすることがありますか」と話しかけてくれたら、とてもうれしいものです。このような声かけをぜひお願いしたいです。』のメッセージも頂きました。貴重な講話をありがとうございました。



中村先生と奥様



ニーシャとふれ合う児童



子ども達の進行による福祉講話

